



ワクチンで予防しよう

健康安全セミナー
2025年2月12日

在カンボジア日本国大使館 医務官
粟澤 俊樹

1

1



予防接種

- ◆ 小児の定期接種
- ◆ 成人の注意点
- ◆ 渡航用

2

2



小児の定期接種は完了しよう

- ◆ 1歳3月までに完了するものが大部分(7/9)
 - ❑ 日本脳炎は6ヶ月から可能(3歳からが通常)
 - ❑ MRの2回目とHPVは6歳以降
- ◆ 生ワクチンの接種制限に注意
 - ❑ 連続する異なる注射生ワクチンは27日以上
 - ❑ 同時接種に制限なし
 - MR(はしか、風疹)、水痘(水ぼうそう)、ムンプス(おたふくかぜ)、BCG(結核)

4

4



成人では

- ◆ 年齢により接種不足している
 - ❑ 麻疹・風疹
 - 17/25州で感染確認(小学生)。予防接種キャンペーン
 - ❑ 日本脳炎・破傷風・ポリオ
- ◆ 接種後の時間経過により予防効果が減弱

5

5



接種不足している可能性

2000年4月2日以前生まれは追加接種が必要

◆ 麻疹	未接種	2回接種
❑	1972年 1回のみ	2000/4/2 以降
◆ 風疹		
❑ 男	1979年 1回のみ	2000/4/2 以降
❑ 女	1962年 1回のみ	2000/4/2 以降

6

6

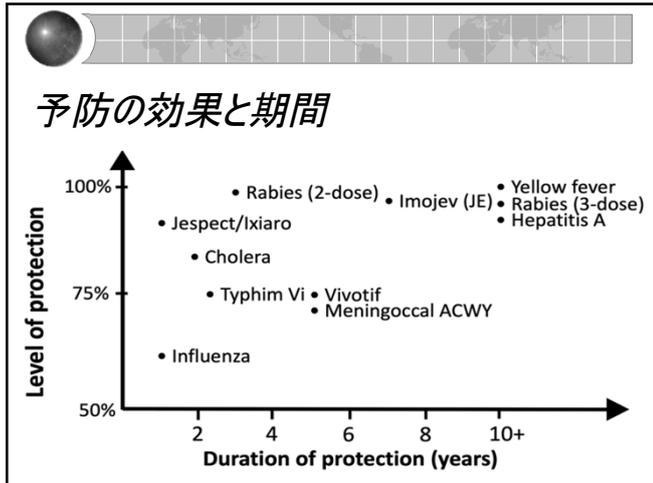


接種不足している可能性

- ◆ 日本脳炎
 - ❑ 1995年 不足の可能性 2009年
- ◆ 破傷風
 - ❑ 1968年 基礎免疫はあるが
- ◆ ポリオ
 - ❑ 1975年から1977年生まれは免疫が低い
- 不足していないか確認する必要あり

7

7

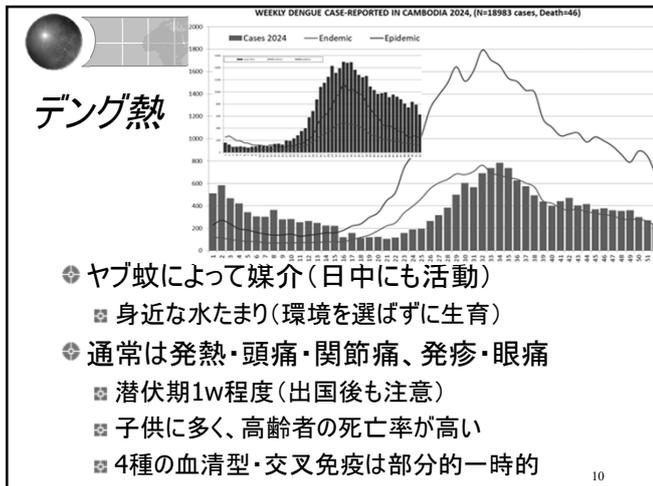


8

渡航用ワクチン

- 多くは小児の定期接種と同じ
- 東南アジア
 - ◎A型肝炎・麻しん・風しん
 - B型肝炎・狂犬病・日本脳炎・破傷風
 - https://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/useful_vaccination.html
- ☒ デング熱

9



10

QDENG (TAK-003 武田薬品)

- 2型をベースに構築、4種血清型を含む遺伝子組み換え4価弱毒生ワクチン
- 2回接種で全血清型に免疫応答誘導
 - ☒ 入院を84%、発症を61%抑制
- 4歳から(妊娠・授乳中、免疫不全は不可)
 - ☒ WHO:6歳から16歳
 - <https://www.niid.go.jp/niid/ja/typhi-m/iasr-reference/2642-related-articles/related-articles-534/12831-534r04.html>
 - https://www.takeda.com/jp/newsroom/newsreleases/2023/20231004_8403/

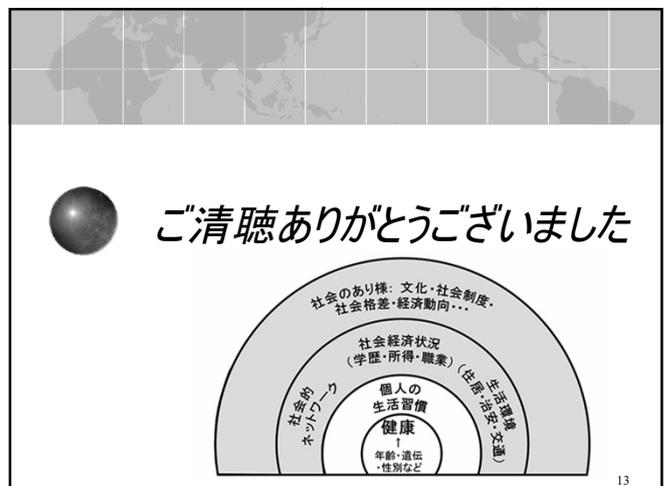
11

海外旅行保険加入のおすすめ

https://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/hoken.html

- 海外での医療は高額
 - ☒ 海外旅行保険
 - 治療費用(傷害・疾病) 救援費用
 - ☒ クレジットカード
 - 付帯条件や適用期間に注意

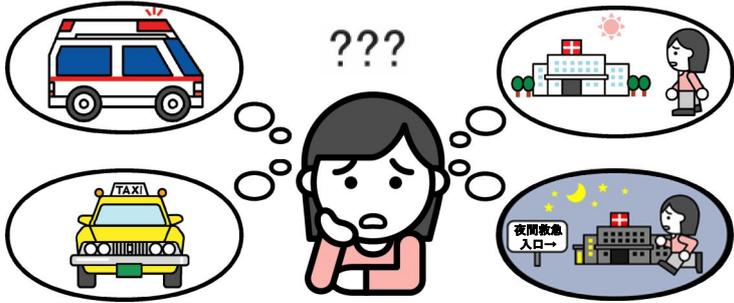
12



13

判断に迷ったときは、お近くの救急相談窓口

急な病気やけがをしたとき、救急車を呼んだほうがいいのか、自分で病院を受診すればいいのか、どこの病院に行けばいいのか迷うことがあります。



そのような時にはお住まいの都道府県や市町村に救急相談窓口がありますのでご相談ください。

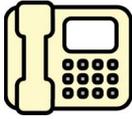
例えば、次のような電話相談窓口があります。(令和6年11月現在)

#7119 救急安心センター

(札幌市周辺、青森県、宮城県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、名古屋市中区、京都府、大阪府、神戸市周辺、奈良県、田辺市周辺、鳥取県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、長崎県、熊本県、大分市、沖縄県)

#8000 子ども医療電話相談

※各都道府県に窓口があります。



全国版救急受診アプリ「Q助」



・消防庁が作成した「Q助」は、急な病気やけがをした時に、病院に行くタイミングや救急車が必要なかの判断に迷った場合に、症状を画面上で選ぶだけで、緊急度に応じた対応を支援するアプリです。

・アプリは無料で公開しています。

〈大阪大学医学部附属病院の協力を得て作成しています。(特許第 6347901) 総務省消防庁「Q助」案内サイト

<https://www.fdma.go.jp/mission/enrichment/appropriate/appropriate003.html>

突然のこんな症状の時にはすぐ119番!!

顔

- 顔半分が動きにくい、しびれる
- 笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくい
- 見える範囲が狭くなる
- 周りが二重に見える

高齢者

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 急にふらつき、立てられない

頭

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 旅行などの後に痛み出した
- 痛む場所が移動する

胸や背中

- 突然の激しい腹痛
- 血を吐く

おなか

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

手・足

意識の障害

- 意識がない(返事が無い)又はおかしい(もうろうとしている)

吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

けいれん

- けいれんが止まらない

飲み込み

- 物をのどにつまらせた

けが・やけど

- 大量の出血を伴うけが
- 広範囲のやけど

事故

- 交通事故や転落、転倒で強い衝撃を受けた

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合◎
高齢者は自覚症状が出にくい場合もありますので注意しましょう。

迷ったら「かかりつけ医」に相談しましょう!

※ 発熱等の症状がある場合は、新型コロナウイルスに関する受診・相談センターに電話相談するか、速やかに発熱外来/かかりつけ医/地域外来・検査センターを受診しましょう。
※ さらに、119番通報などの判断に迷った時は、お近くの救急相談窓口(#7119等)にご相談下さい。

こんなときにはすぐに119番!!

子ども(15歳以下)

顔

- くちびるの色が紫色
- 顔色が明らかに悪い

頭

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある

胸

- 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しそう
- 呼吸が弱い

おなか

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがらる
- 嘔吐が止まらない
- 便に血がまじった

手・足

- 手足が硬直している

- **意識の障害**
● 意識がない(返事が無い)またはおかしい(もうろうとしている)
- **けいれん**
● けいれんが止まらない
● けいれんが止まっても、意識がもどらない
- **飲み込み**
● 物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない

- **じんましん**
● 虫に刺されて全身にじんましんが出て、顔色が悪くなった
- **やけど**
● 痛みのひどいやけど
● 広範囲のやけど
- **事故**
● 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
● 水におぼれている
● 高いところから落ちた

- **生まれて3カ月未満の乳児**
● 乳児の様子がおかしい

◎その他、お母さんやお父さんから見て、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

※ 小学生以下の子どもで、発熱等の症状がある場合は、新型コロナウイルスに関する受診・相談センターに電話相談するか、速やかに発熱外来/かかりつけ医/地域外来・検査センターを受診しましょう。

※ さらに、判断に迷った時は、お近くの電話相談窓口にご相談下さい。子ども医療電話相談(主に休日・夜間)は#8000、119番通報の相談は#7119をご利用いただけます。

重大な病気やけがの可能性ががあります!

顔

- 顔半分が動きにくい、または、しびれる
- ニツコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくく、うまく話せない
- 見える範囲が狭くなる
- 突然、周りが二重に見える
- 顔色が明らかに悪い

おとな

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てないくらい急にふらつく

頭

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2~3分続く
- 痛む場所が移動する

胸や背中

- 突然の激しい腹痛
- 激しい腹痛が持続する
- 血を吐く
- 便に血が混ざるまたは、真っ黒い便が出る

おなか

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

手・足

- **意識の障害**
● 意識がない(返事が無い)またはおかしい(もうろうとしている)
● ぐったりしている
- **吐き気**
● 冷や汗を伴うような強い吐き気
- **けいれん**
● けいれんが止まらない
● けいれんが止まっても、意識がもどらない
- **飲み込み**
● 物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない

- **けが・やけど**
● 大量の出血を伴うけが
● 広範囲のやけど
- **事故**
● 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
● 水におぼれている
● 高いところから落ちた

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

※ 発熱等の症状がある場合は、新型コロナウイルスに関する受診・相談センターに電話相談しましょう。(特に、妊婦や基礎疾患がある方については、発熱等の症状がある場合は、新型コロナウイルスに関する受診・相談センターに電話相談するか、速やかに発熱外来/かかりつけ医/地域外来・検査センターを受診しましょう。)

※ さらに、119番通報などの判断に迷った時は、お近くの救急相談窓口(#7119等)にご相談下さい。